



Rotary Program

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング「奉仕の理想」
3. 四つのテストの唱和
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 各委員会報告・その他連絡事項
7. 友の見所 / 三瓶 一壽さん
8. 会員卓話 / 三條 安國さん  
三瓶 一壽さん
9. 閉会点鐘

河野広中像

2022-21 三春ロータリークラブ テーマ  
未来を語り、情熱を持って活動し、  
自らも成長しよう!

令和4年11月10日 (木) 12:30～ 場所：割烹 八文字屋

### 友の見どころ・会員卓話例会

#### 会長挨拶 橋本 国春

皆さんこんにちは。例会に出席頂き、有難うございました。

最初に、この5日6日に開催された三春秋まつりに参加頂き、大変有難うございました。天候にも恵まれ、多くの人出もあり、良かったと思えました。我が三春ロータリークラブのブースは、クラブ紹介と輪投げの二つのコーナーでの参加となりました。紹介コーナーは、パネル、映像、チラシ等によるロータリークラブの活動、会員勧誘に結びつける展示。一方輪投げによるお祭り参加。輪投げには田村高校インターアクト部員に両日共参加して頂き、大人の参加もある等大変盛り上がりました。また、渡辺書店さんから頂いたノートも好評を得、祭りらしくできました。一方の紹介の方については、少し物足りなさもありましたが、ロータリークラブの存在をアピールすることは出来たと思えます。課題も感じましたので、皆さんのご意見もお聞きし、次回に繋ぎたいと思っています。


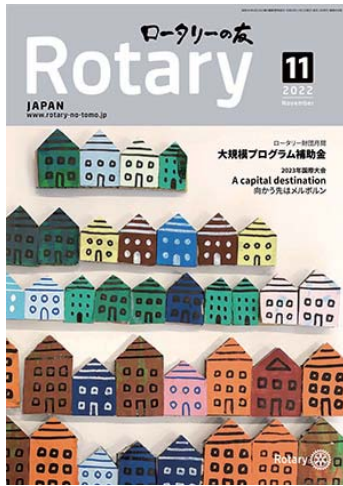
次に、今週末の12、13日に開催される地区大会12日は会長、幹事の参加。13日は10人での参加となります。13日は喜多方市での開催で、早朝からとなります。参加される方よろしくお祈いします。三つ目は今月の1日に、県中分区会長、幹事会が常葉町で開催され、その中で、県中分区青少年奉仕会議が11月27日、日曜日午後2時30分から、常葉の館で開催されるとの説明がありました。内容は、田村市副市長による「ワクワクがとまらない自然とチャレンジがいきるまち」と題しての講演であります。副市長さんは、今年の春通産省か赴任された方です。午後4時閉会ですので、多くの方の参加をお願いします。後日出欠を確認させて頂きます。最後に、17日のゲスト卓話は、郡山商工会議所開発部長山田剛さんによる講演としました。仮称ではありますが、「郡山商工経済、現況と今後の見通し」との題であります。多くの会員の出席をお願いして、会長挨拶とします。



#### 幹事報告 初見 和俊

1. 11月27日(日) 「地区・クラブ規定委員会」セミナー  
福島県男女共生センター(二本松市)
2. 12月3日(土) 2022-23年度補助金管理セミナー  
郡山ユラックス熱海
3. 11月12日(土)～13日(日) 2022-23地区大会  
出席者打合せ



 友の見どころ 三瓶 一壽さん

「友の見どころ」と言うと内容を紹介することが多いのですが、私は毎月の「ロータリーの友」の表紙にいつも興味を持って見させていただいておりますので私の主観から、今月号の表紙に絡んだ話題を一つ紹介させていただきます。

30p～: 世界と日本の近現代史が垣間見れますね！

来年1月で「友」創刊70周年をむかえるそうで、9月号、10月号、そして今月11月号(1970～1989)までを取り上げて紹介しています。

今月号は「おうちつくる」52p・・・です。利用者の皆さんが自由に塗り上げた段ボールを、ちいさな「おうち」にカット。色とりどりの、かわいい街が出来上がりました。

とてもきれいに出来上がりましたね！

我々建築家の仲間たちも、コロナ禍で2年間延び延びになっていた「こども未来プロジェクト」を安達太良山、フォレストパークを会場に、7月30日、31日に開催しました。

郡山市内の小学校の児童や幼稚園の園児を自然に親しむことと、木(もく)を知ること、触れることを目的に募集して参加してもらい、各自に敷地の段ボール、廃材(積み木)、色紙、クレパスやマジックなどの文房具を準備して、好きな自分の住みたい家を作ってもらったWSを開催しました。

子供たちは森の自然にかこまれたウッドデッキの上でそれぞれに志向を凝らした家を組み立てた。それがわれわれの想像以上に面白くて奇抜な発想のものばかりでした。

最後にそれらの作品を寄せ集めて一つの街を作ってみたのですが、父兄らからも非常に評判よく、企画者の我々プロから見ても大変楽しめました。立体模型なので非常に壮観でした。



## 横書き P.4

RI会長のメッセージから協調表示されていますが、今後数カ月以内にこのコラムはロータリーの会員の皆さんのコーナーになる予定です。ロータリーの多様性・公平さ・インクルージョンに関する個人的なストーリーをここで発信してもらおう。。。とありますが今後のこのコーナーの展開が楽しみです。

## P.7

今月はロータリー財団月間であります。特集記事として「大規模プログラム・200万\$、@1口/年」を紹介し、チャレンジを促しています。11pにそれらの具体的な条件・手法が書きされていますが、相当にハードルは高そうですね！(皆さんがよく耳にしているグローバル補助金とは違うようです。)

## P.14

冠名基金のことについて、読みやすく対話方式で示されています。皆さんもよく耳にしていると思いますが理解できていましたか。非常に納得できるストーリーでなるほど！と思わせられました。17pに我々DI2530でも冠名基金を設立した旨の紹介がされておりますのでご覧ください。

- P.19 国際大会「向かう先はメルボルン」が紹介されています。
- P.26 世界インターアクト週間の記事が掲載されています。インターアクター・政治の仕組みに触れる。現在日本でも18歳から政治に参加できるようになりました。これらの若い目を正しい方向へ向かわせるのは我々の責務ではないでしょうか。
- P.42 Food for Thought「おいしい生活のためのヒント」・・・おいしそうなコラムですね。
- 縦組み P.4 人との出会い、人とのつながり・・・DI2790地区(岡山・鳥取・島根)地区財団学友50周年記念式典基調講演から掲載されております。講師:(麗澤大学前学長、元財団奨学生)Dr.中山理・・・グローバル時代の人との出会いとつながりについて、自らの学んだことを話されています。
- P.9 この人訪ねて・・・札幌南ロータリークラブ 羽生大任(ハブ ダイニン)氏 70歳にして初の単身赴任という衝撃的な導入で始まるこの方、浄土真宗東本願寺派住職の波乱に満ちた人生を紹介しております。

この他にも興味ある記事が多く掲載されています。例えばロータリー・アットワークなど我々のクラブでも活動の参考になる情報があると思いますのでご覧ください。

・・・でも我々のクラブが今一番取り組まなければならないことはクラブ事業の健全な運営手法を模索することかもしれません。各事業への全員参加・協力と達成感を得る(自己満足ではなく)にはどうしたらよいか。。。このようなテーマでの情報が欲しいですね。

 会員卓話 三條 安國さん



2464回 (会員卓話) 三條安國さん



三條安國さんの会員卓話の様子は、三春RCチャンネル (YouTube) にてご覧いただけます。

(URL)

<https://youtu.be/2negJV4Psq8>



 会員卓話 三瓶 一壽さん

私の職業は「建築家」です。我々の業界を取り巻く環境が近年大幅に変化を遂げておりますので、我々の日常業務において何を変えて、何は変えてはいけないかを整理して皆様にお話しさせていただきます。

私の加盟している「日本建築家協会・JIA」と言う組織があります。この中で私は昨年までの4年間、東北支部副支部長、そしてJIA福島地域会の会長を務めておりました。2011年3月11日に発災した悲惨な東日本大震災(天災そして人災)の時から我々は会員有志一丸となって、その被災状況調査、避難者の仮設住宅建設(特に新しく住環境を既設プレハブ住宅から格段に向上させた木造仮設住宅)をサポートし、復興住宅団地計画をサポートして来ました。それと同時に東北各地の会員と連携を図り、被災各地の復興をサポートしてまいりました。

あれから10年目にそれらを総括するための大きなイベント「東日本大震災から10年」を企画してまいりました。しかしながらこのイベントも2019年末からパンデミックと化したコロナ感染症により延期を余儀なくされましたが、今年2022年度仕切直してこれらを実施することが出来ましたので、これらから感じ取れた復興のあり方について紹介いたします。

我々は去る8月31日から9月2日にかけて岩手県・宮城県・福島県とバスツアーを企画実行しました。これは全国から建築家有志を募り、復興の進捗等を確認してもらうものです。

- ① 岩手県(初日): 陸前高田市気仙小学校//高田松原津波復興記念公園(国営追悼施設)//まちの縁側アムウェイハウス//交流施設「ほんまるの家」//陸前高田市博物館
- ② 宮城県(2日目): 南三陸町震災復興記念公園//北上町にっこり団地//石巻市震災遺構(大川小学校)//震災遺構(門脇小学校)//マルホンまきあーとテラス(市民センター)
- ③ 福島県(最終日): 福島第一原子力発電所視察//中間貯蔵施設//双葉町のまちづくり//東日本大震災・原子力災害伝承館//双葉町産業交流センターF-BICC

※ 3県視察共通で感じたことは、復興は時間との勝負であること。・・・各地域それぞれに大変な労力をついたされていますが、10年は人間生活スパンを考えると長かった、と言うことです。

※ どの地域も復興には計り知れない多くの労力と莫大な予算をかけておりますが、現況として数割の帰還率でしかなく、とても地域生活の復興とはなり得ない現状でありました。特に福島県の双葉町では新庁舎を建設しましたが、それも仮設プレハブで、先の見通しがつかない中での本設の庁舎建設はあり得ないのだそうです。

※ 特に岩手県や宮城三陸の海岸線では巨大堤防で完全に海とは分断された状態が大規模広範に続いた状態でした。漁師の町のはずなのに、これでは漁業も衰退の恐れを感じると同時に、本当に誰のための復興事業だったのか、ここまでの土木事業の前に考えるべきことがあるのではないかという疑問を感じました。(このことは多くの建築家や有識者が異口同音に話されてもいます。)

※ これらのことから大規模災害からの復興については、まだまだ検証を行い、近い将来にも発災が懸念されている「中南海沖地震」にも活かせる復興のありかたを考える必要性を感じました。



 会員卓話 三瓶 一壽さん

次にまちづくりに関することで一言。

私は9月24日から25日にかけて「JIA建築家協会東北大会IN山形」に参加してまいりました。この大会は山形市内の市民文化複合施設である「遊学館」で基調講演やシンポジウムを行い、25日には山形ビエンナーレの合わせての町中散策と山形県河川敷大鍋芋会で有名な馬見ヶ崎川河川敷で我々が毎年行う芋煮会鍋と音楽を堪能しました。

本大会のテーマは「繋ぐ 未来につなぐ 人・まち・建築」でした。

皆さんは「未来につなぐもの」って何を思いますか？

目まぐるしく変わる社会情勢の中で、このテーマに対峙した時に我々は何を考えればよいでしょうか。何を考えるにしても我々は、「残すものと新たにつくるもの」に対して常に何を未来につなぐべきか。その為今、どのような行動をすべきなのか。を常に考えておく必要があるように思います。

これは山形市での一例です。山形市では2017年・ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を機に、地域に蓄積されてきた世界に誇るべきクリエイティブのチカラを産業振興に活かし、地域の未来につなげていく、「創造都市振興事業」を進めているそうです。これらの一つとして「ヤマガタクリエイティブシティーセンター・Q1」と言う施設(旧第一小学校の建屋をコンバージョン)を利用して「山形の伝統文化と人々が行き交う場所であり地域の産業との化学反応を試す実験場」として活用しておりました。来年以降に皆様も機会があれば是非とも山形を尋ねてみてください。市内の至る所を開放して、趣向を凝らした実験的町おこしを試みていますよ。

それから10月20日・21日・22日と沖縄で3年ぶりに開催された日本建築家協会JIA大会2022沖縄に参加してまいりました。この大会は日本各地をはじめとする、アジア・アメリカの建築家協会のゲストを迎えての大会です。20日には各分科会委員会/ウエルカムサンセットクルーズパーティー。

21日には予てより希望していました。2019年10月31日深夜に消失しました首里城の復興状況を視察/保存再生会議に出席/本大会参加(式典、メインシンポジウム)/レセプションパーティー(沖縄ハーバービューホテル)に参加、このホテルにはちょうど天皇陛下御夫妻が、沖縄へ来訪される前日とあって警備が厳重で、各県からの応援警備の機動隊も多く待機しておりました。ここでのアトラクションに沖縄空手(オリンピック出場の演武)やエイサーを体験することが出来ました。このエイサーの始まりは、福島県いわき市の僧侶が伝えたものでいわき市のジャンガラ踊りが起源だそうです。余計に親しみを感じました。

22日にはエクスカッションに参加、私は沖縄北部の名護市役所/沖縄美ら海水族館と民家園/備瀬のフクギ並木/世界遺産史跡今帰仁(なきじん)城跡/今帰仁中央公民館を視察してぎりぎりのタイミングで飛行機に飛び乗り帰途につきました。

沖縄には内地には無い、独特の文化を有しています。古くはやはり中国等の大陸文化の影響が色濃い生活スタイルですが、米軍に占領されてからの影響は大きくどうしてもアメリカンスタイルの表情も至る所に出ています。沖縄は占領下米軍の影響から建物もRCが多く、木造民家でもコンクリート瓦が多く目立ちます。我々が視察した中で多くの建物は、コンクリートの骨材(砂等)の塩害の問題でボロボロ状態のものが多く、その対応に悩まされている80年代前後の名建築も例外ではありませんでした。

また、私は沖縄と言えば首里城と思っておりましたが、意外と城(グスク)は多く存在しており、世界遺産でもある今帰仁城跡の広大さには驚きました。沖縄でもやはり部族間の争い等の勢力争いは結構あったようです。

最後に現在の社会情勢は非常に混沌としており、以前のようにどンドンと建物を作れる時代ではなくなってきております。自然界においては地球環境の大きな変化として温暖化による様々な悪影響、気候変動問題。社会環境面では少子高齢化社会へ既に突入していることから発生する社会的な不具合。そしてロシアによるウクライナ侵略戦争をはじめとする世界各地での武力衝突やにらみ合い。歴史的に見るとこれが世界で繰り返されてきた歴史と片付けようにも片付けられない危機的な状況に向かっているように、痛切に感じています。最低限世界がまとまって進める方向はこれから先に見出せるのでしょうか？人間社会において本当に大切にすべき物事って何なのでしょう？

# 三春 秋まつり

11月5日(土)・6日(日)の二日間、3年ぶりとなる三春秋まつりが開催されました。三春ロータリークラブでも出展ブースを開設し、ロータリー活動の紹介や輪投げゲームなどをおこないました。

